

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	○	○
	やや良くなる	一般小売店〔生花〕 （経営者）	・高額商品が少し動き出したので、年末に向けて、安いものだけではなく、高価なものが売れるという期待感が出てきた。
		百貨店（営業担当）	・先月までは落ち込みが激しかったが、9月に入ってから、消費も活発になってきており、今後もこの傾向が続く。
		スーパー（店長）	・昨年は天候不良から、いろいろなものの作柄が悪かったが、このところ天候が回復しているので、今年の後半は期待できる。
		家電量販店（営業担当）	・テレビを中心に、全般的に商品の動きが良くなっていることから、年末までの間、販売額を増やすことができそうだ。
		乗用車販売店（営業担当）	・10月上旬に主力車種のモデルチェンジがあるため、良くなる。
		通信会社（支店長）	・番号ポータビリティ制度の導入により市場が刺激され、購買意欲の向上に結び付く。
		観光名所（職員）	・建物の改修工事もあと数か月で終わり、その後、入場者数も増えてくる。
	変わらない	百貨店（営業担当）	・ブランド商品群に好不調の波があり、ファッション商品にもむらがある。
		百貨店（売場担当）	・地元大手スーパー廃業など経済状況に好材料が乏しく、消費マインド向上には時間が掛かる。また、中心商店街の地盤沈下も徐々に進んでおり、当店を取り巻く状況にも好材料がない。
		スーパー（店長）	・内閣交代、野球の優勝セールなどで、購買意欲が高まる可能性があるが、ガソリンの高値も続いており、一気には良くなる見込みがない。
		スーパー（財務担当）	・年末にかけて同業他社の新規出店が2店舗計画されており、影響必至で一段と厳しい状況が続く。
		衣料品専門店（経営者）	・メンズは非常にいいが、レディースに関しては期待が持たず、全体としては、大きく伸びない。
		衣料品専門店（経営者）	・昨年のような厳冬によるコートの大幅な売上増は期待しづらく、平年並みを予想する。
		乗用車販売店（従業員）	・10月にフルモデルチェンジがあり、売上の大幅増加を期待している。しかし、ガソリン代の高騰が影響して、買い控えか、買い換えても軽自動車になりそうだ。
		乗用車販売店（管理担当）	・周囲には業績不振の話が多く、近い将来販売が増える見込みがない。
		住関連専門店（経営者）	・販売量が伸びていない。
		その他専門店〔CD〕 （店員）	・ガソリン値段の高騰を懸念していたが、今のところ大きな影響は出ていない。
		一般レストラン（経営者）	・決まった金額以上はなかなか使わないし、仕方がない場合以外は、飲酒の機会を極力避けている。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況は、ほとんど伸びもしないし減りもしていない。また、単価も一向に上昇しないため、景気は変わらない。
旅行代理店（従業員）		・団塊世代を中心に旅行への需要はおう盛で、店頭での相談客も多く、今の景気は持続する。	
タクシー運転手	・自転車通勤が増え、週末等自転車で来て飲食するサラリーマンが増えている。		
ゴルフ場（従業員）	・月初めは予約率が良いが、中盤、終盤が伸びない。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・商店街内にある地元スーパーが10月の中旬に閉店ということもあり、特に商店街内の食料品販売店などは影響が大きい。商店街の店主・経営者には、先行きに対する不安を持つ人がかなり多い。	
	商店街（代表者）	・郊外大型店の出店が止まらない。	
	スーパー（予算担当）	・暖冬の予測が出ているので、冬物商材の売行きが昨年ほどは良くない。	
	設計事務所（職員）	・同業他社との価格競争がさらに進む。	
悪くなる	○	○	
	良くなる	○	○
企業 動向 関連	やや良くなる	○	○
	繊維工業（経営者）	・自動車、衣料品に次いで、住宅、インテリアなどにも消費が拡大している。特に生活雑貨に対する消費者の反応が良くなっている。	

	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・重曹電解水クリーナーやスプレー等の受注が増加してきている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・電気機器の生産ラインや食品関係のプラント等の受注が決まっている。また、同様の引き合いもあり、先は明るい。	
	輸送業（役員）	・四国の中で、大きな荷動きはなかったが、最近、食品関係の出荷が伸びてきており、期待できる。	
	通信業（営業担当）	・大型スーパー等のマネージャー・経営者層に、情報化・システム化の提案を行う際、コスト削減のためのインフラ整備やイニシャルコストに対する抵抗感が、2～3年前に比べて弱くなってきている。	
	通信業（支店長）	・番号ポータビリティ導入後、市場が活性化する。	
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・西日本全般は製造業の好況により、大型クレーンは総じて高稼働で推移する。また、高所作業車についても、オフィスビル等の新設工事増により、好調を維持する。	
	建設業（総務担当）	・当地区の地価がようやく下げ止まったことにより、心理的効果が期待できる。	
	輸送業（支店長）	・燃料は、高止まりで落ち着いた。	
	金融業（融資担当）	・主要な取引先である建設土木業の受注量は減っており、今後とも景気は底の状態が続く。	
	不動産業（経営者）	・受注量、受注価格とも、横ばい、あるいはそれ以下で推移しており、今後もいい案件は期待できない。	
	広告代理店（経営者）	・商店街の再開発工事の一部完成に伴い、多少の広告費増加は見込めそうだが、全体的には変わらない。	
	公認会計士	・企業の社長のほとんどが、このまま景気が良くなるとは考えていないが、かといって、悪くなるとも考えておらず、今は設備投資を控えている。金利については、上昇するのではという不安を持っており、実際、金融機関は利上げのために各企業を訪問しているようだ。金利上昇が景気の足を引っ張る原因となりうる。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量が減少傾向にある。	
悪くなる	—	—	
雇用関連	良くなる	—	—
	やや良くなる	民間職業紹介機関（所長）	・製造業、建設・土木関係の求人数が増加傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・営業や販売の求人は増えているが、事務系の求人が減っている。
		人材派遣会社（支店長）	・首都圏及び都市部では、人材の動きが非常に活性化しているが、地方においては人の確保が非常に難しい。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新卒に関しては好調に推移している。優秀な即戦力を採用したい企業は依然として多いが、それに対する人材が不足気味である。
		職業安定所（職員）	・産業基盤の中核をなす業種に、好転する兆しがない。
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・何か一つでも明るい兆しがあれば良いのだが全く見当たらない。葬儀社と病院のみが調子が良いだけで、衰退傾向に歯止めが掛からない。
悪くなる	—	—	